

白川ポンプ場建設工事通信誌 No.9

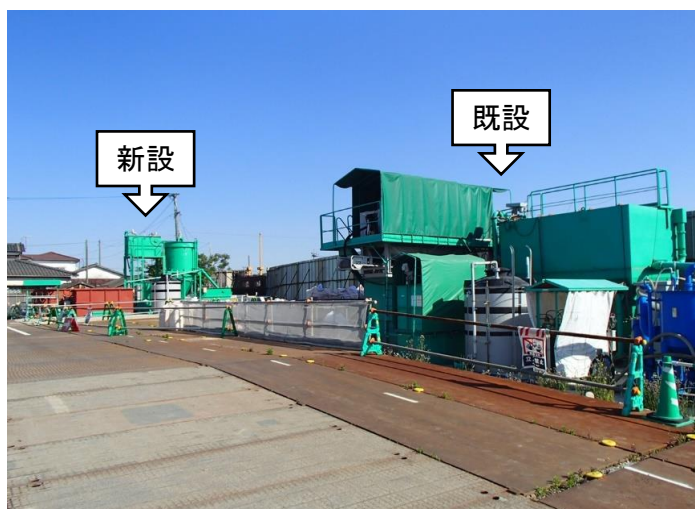
令和元年5月14日発行

通信誌作成者：三井住友・西日本メンテナンス・瀬口・クボタ・東芝JV

工事中は、建設機械の騒音や振動などで、近隣のみなさまにはご迷惑をおかけしますが、最大限配慮して施工してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

トピック1 濁水処理機を移設しました。

- 放流渠（ポンプ場から堂面川へ接続する部分）工事の準備作業として、ポンプ場内の西側へ濁水処理機を移設しました。



濁水処理機は常時稼働していますので、以下の手順で移設しました。

- ①. 同じ性能の処理機を新たに設置
↓
- ②. 新設の処理機に切替、稼働
↓
- ③. 既設の処理機を解体、撤去

濁水処理機の処理能力
・浮遊物処理(SS): 30m³/時
・PH処理(PH): 60m³/時

トピック2 本体構造物の施工準備中です。

- 現在、ポンプ場本体基礎部の施工は完了し、本体構造物（底版部）の施工準備中です。事前に品質の十分な確保を目的とした鉄筋の仮組立を現地で行っており、施工は6月初旬開始予定です。

本体構造物の施工により以下のことが予想されます。

- 地下部分の大規模コンクリート打設が15回あり、堂面川沿いを大型車両（生コン車）が頻繁に通行するため、渋滞が予想されます。

大規模コンクリート打設時期は、現地に予告看板を設置してお知らせしますので、ご協力願います。

- コンクリート打設作業中は、ポンプ車の騒音や締固め振動音などが予想されます。

できるだけ影響を低減できる方法で作業を行います。

鉄筋の仮組立状況



今後の予定 本体地下構造物の施工は、底版部が令和元年6月、壁や柱等は7月からの予定です。